

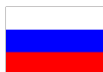
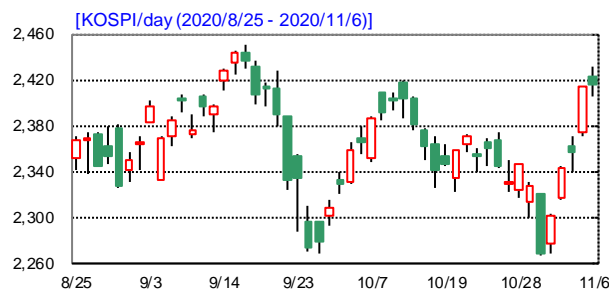


【韓国】 総合指数は週間で6.6%高と反発、今週は不透明感の後退で堅調か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で6.6%高と大幅に反発。6日まで5営業日続伸と堅調に推移した。1日に発表された10月の貿易統計は、秋夕連休の影響で輸出が前年同月比で3.6%減少したが、半導体や自動車は好調で、1日当たりの平均では9カ月ぶりに増加に転じた。米国や中国の製造業PMIなど経済指標の強い内容も好感された。一方、欧州で新型コロナの感染が再拡大しており、経済への影響が懸念されたが、韓国銀行（中央銀行）総裁が必要であれば市場の安定化に向けた措置を講じる意向を示し、投資家心理が強気に傾いた。今週は米大統領選を巡る不透明感の後退を背景に堅調な推移か。ただ、新型コロナの国内新規感染者数は連日で100人を超えており、引き続き懸念材料。経済指標では11日に10月の失業率が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は10.5%高と大幅反発、今週は米大統領選明けの株高継続へ

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で10.5%高と大幅反発。米大統領選前後の欧米株の大幅高や原油高、ルーブル高が支援となった。前週に8.4%安となったRTS指数は、週明けに小幅高となると、3日は米大統領選後の株高を期待した欧米株高を受けて前日比3.6%高と大幅に続伸。米上院・下院が「ねじれ議会」となる見通しを背景に欧米株が上げ幅を拡大したことで、5日のRTS指数は5.6%高と急伸。原油高を受けたエネルギー株の上昇やドル安・ルーブル高も支援となった。個別では、金相場の上昇を好感したポリメタル・インターナショナルとポリユスに加え、原油高を受けたノバテックが2桁高と急伸。時価総額最大の金融のズベルバンク・オブ・ロシアが8.2%上昇し、指数を押し上げた。今週は米大統領選明けの世界的な株高が続くか。

▼指数チャート



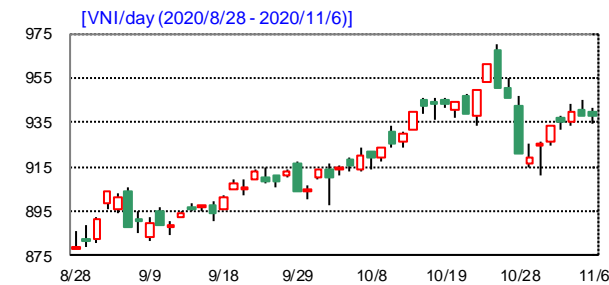
【ベトナム】 ベトナム指数は1.4%高と反発、今週も米大統領選後の株高が追い風

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.4%高と反発。前週の大幅安で押し目買いが強まる中、米大統領選前後の欧米株の大幅上昇も支援となった。前週に指数が3.7%安と7週ぶりに大幅反落したことで、週明けから押し目買いが優勢となった。米大統領選で民主党のバイデン候補の優勢と上院で共和党が過半数を維持する「ねじれ議会」を予想した米国株高を背景に世界的にリスクオンが強まり、ベトナム株の追い風となった。VN 指数は小幅に反落した5日を除き4日間で上昇した。個別では、ゴム製品のベトナム・ラバー・グループが7.8%高、食品加工のマサン・グループが7.0%高、金融のベトインバンクが4.3%高。一方、不動産のビンググループが1.3%下落している。今週は米大統領選明けの世界的な株高が引き続き追い風となるか。

▼指数チャート

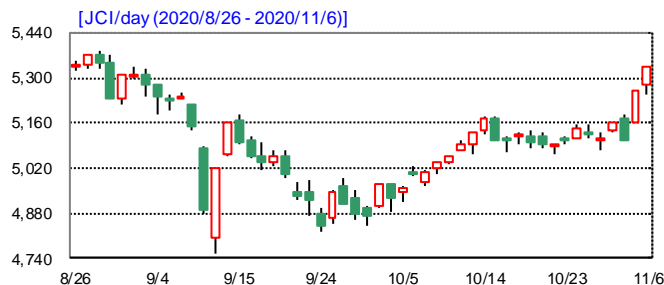


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.0%高、世界同時株高で大幅上昇

ジャカルタ総合指数は週間で 4.0%高と 5 週続伸。週後半の上昇が奏功した。連休明けの 2 日は、米大統領選を目前に控えた様子見で続落。その後は 4 日まで一進一退の値動きだったが、5 日は 7-9 月期の GDP が前年同期比 3.5%減と市場予想の 3.0%減から下振れしたものの影響は小さく、前日の NY ダウが続伸した流れを引き継ぎ、指数は前日比 3.0%高と大幅反発した。6 日も好地合いが続く中、米ドル安ルピア高が進んだことも買い材料となり、指数はさらに 1.4%高と終値で約 2 カ月ぶりに 5300 ポイント台に乗せている。今週は国内の重要イベントが少なく、大統領選の結果に対する米国の動向が焦点か。

▼指数チャート

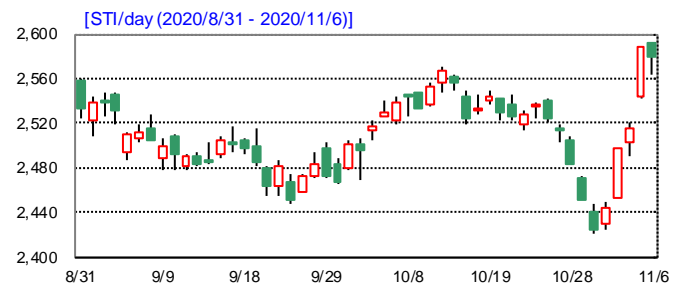


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 6.4%高、金融株の一角が指数上昇をけん引

ストレーツタイムズ指数は週間で 6.4%高と反発。外部要因で下落した前週から大幅に上昇した。週初の 2 日に 6 営業日ぶりに反発すると、3 日は前日の NY ダウが反発した流れで前日比 2.2%高と続伸。4 日は好地合いの中、前日の取引終了後に発表された 10 月の製造業 PMI が 50.5 と 4 カ月連続で節目の 50 ポイントを超えたことが好感された。5 日は 7-9 月期の純利益が市場予想を上回った DBS グループとオーバーシー・チャイニーズ銀行が指数上昇をけん引し、前日比 2.9%高と 4 日続伸したが、6 日は反落して引けている。今週は国内の経済指標発表が少なく、外部要因が指数を左右する展開になりそうだ。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 5.5%高、バイデン氏勝利への期待で 4 週ぶりに反発

SET 指数は週間で 5.5%高と 4 週ぶりに反発。世界的な株価上昇に連動して上値を広げた。週初の 2 日は、中国の 10 月の財新製造業 PMI が 53.6 と 11 年 1 月以来の高水準となったことが好感されて、指数は 4 営業日ぶりに反発。3 日は米大統領選でのバイデン氏の勝利に対する期待感から買われ、前日比 1.6%高と続伸した。4 日も小幅に上昇すると、5 日はさらに 3.4%高と 4 日続伸したが、6 日は反落して取引を終えている。今週は前週に続き 7-9 月期の決算発表が集中する中、指数ウエートの大きいタイ石油公社 (PTT) の業績が市場予想を上回れば好材料。反政府運動の動向も引き続き注目されそうだ。

▼指数チャート

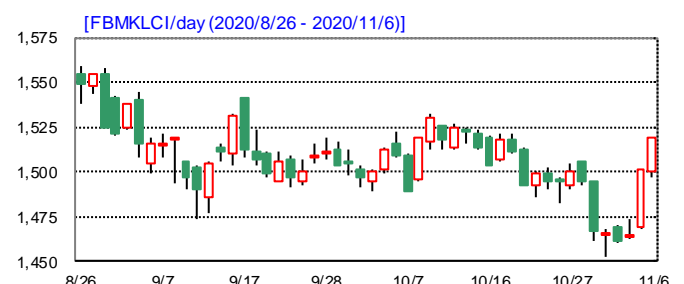


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.6%高、今週は 13 日に 7-9 月期の GDP 発表

クアラルンプール総合指数は週間で 3.6%高と 4 週ぶりに反発。週後半の上昇が指数を押し上げた。週初の 2 日は中央銀行の金融政策決定会合を翌日に控えた様子見で、指数は前週末からほぼ横ばい。4 日まで小幅なレンジでの値動きが続いたが、5 日は世界的な株高に連動して引け際に買われ、終値で前日比 2.5%高と 6 営業日ぶりに 1500 ポイント台に乗せた。6 日は同日発表の 21 年度政府予算案に対する楽観的な見方が広がった効果で、さらに 1.2%高と 3 日続伸して引けている。今週は 9 日の 9 月の鉱工業生産に続き、13 日には 7-9 月期の GDP が発表される予定で、内容次第で上値を試す展開になるか。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。